健 康 づ く り 課

企　画　・　デ　ー　タ　ヘ　ル　ス　推　進　グ　ル　ー　プ

1　おおさか健活１０推進プロジェクト事業の推進

予　算　額　　８６，１３２千円

決　算　額　　８１，６０３千円

(1)　オール大阪による健康づくり推進事業

①　府民の健康づくり気運醸成事業

予　算　額　　１４，８１８千円

決　算　額　　１４，１４０千円

オール大阪での健康づくり推進活動のキャッチコピーである「健活１０」〈ケンカツテン〉を広く府民に周知することを通して、府民の主体的な健康づくりに向けた気運の醸成を図るもの。

食や運動といった「健活１０」のテーマに沿って健康づくりの実践を促す体験型のリアルイベント及びアスマイルを活用したウォーキングイベントを実施した。

　　リアルイベント（健活ワクワクＥＸＰＯ）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取組み（期間） | 概要 | 参加者数 |
| 第１弾  「食でワクワク！健康づくり」（10/8） | 食と健康を楽しく学べる企業等のブース出展や、料理研究家を迎え、大阪府が推進する「V.O.S.」を学べるステージイベントを実施。 | 1,000人 |
| 第２弾  「フレイルって何なん？セミナー＆測定会」  （11/13） | ①フレイル予防セミナー、②体組成測定会、③「噛む力」の測定を実施。 | ①42人  ②86人  ③118人 |
| 第３弾  「次世代ヘルスケアと健康づくり」（2/5） | 健康を支える新しい技術に触れることができる企業等の出展ブースのほか、ステージでは著名人をゲストに迎えた健活トークショーなどを実施。 | 1,230人 |

　　ウォーキングイベント

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 期間 | 実施場所 | 参加者 |
| 1/25～2/5 | 大阪・梅田エリア | 439人 |

②　健活おおさか推進府民会議関連事業

予　算　額　　３，８１３千円

決　算　額　　２，８３８千円

企業、保健医療関係者、医療保険者、市町村等、多様な主体との連携・協働を通して事業を展開し、オール大阪での健康づくりの気運醸成を推進した。

また、職場や地域の健康づくり活動に積極的に取り組む団体を表彰する「健康づくりアワード」を実施した。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 健活おおさか推進府民会議の運営 | ・市町村や企業・保健医療関係団体等を中心に参画を呼びかけ、これまで209団体が入会（3/31時点）  ・実行委員会の開催  ・会員間の連携・協働の促進や情報提供・情報交換を目的とした会員向けメールマガジンの発行 |
| 総会の開催 | ・市町村や企業・大学の取組みの活動報告や、ゲストによる基調講演の実施。会員間の情報共有や交流を図った。  （参加者：125人（65団体）） |
| 健康づくりアワード | 職場部門 最優秀賞１団体、優秀賞２団体、奨励賞５団体  地域部門 優秀賞２団体、奨励賞１団体  を表彰（応募団体数34団体） |

③　府政だよりによる啓発事業

予　算　額　　４，８００千円

決　算　額　　４，６０８千円

府民の健康課題や健康づくりの重要性を広く発信し啓発するため、府政だより９月号に「健活10（運動／けんしん）」について掲載した。

(2)　健康キャンパス・プロジェクト事業（若い世代の健康づくり推進事業）

予　算　額　　２，４６３千円

決　算　額　　１，６５１千円

府内大学と連携し、授業内で大阪府の健康課題・現状や健康づくりの取組みについて説明を行うことで、若い世代の健康意識の向上を図った。また、府内全大学の職員を対象とした情報交換会を開催し、大学における健康づくりの課題についての講演やグループワークを行った。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 大学との  個別の取り組み | 授業内で府の健康課題・現状や取組みについて説明を行い、学生自らが健康づくりについて考察  ・近畿大学  健康課題についてグループワークとポスター発表を実施  （学生203名）  ・大阪公立大学  アスマイルアンケートによる調査結果を活用したグループワークを実施（学生17名） |
| 府内全大学と  連携した仕組みづくり | 各大学において健康づくりの取組みを自主的に行うことを目的とし、大学の健康課題の調査を行うほか、情報や取組み事例を広く発信  ・大学調査（アンケート）  　全国大学保健管理協会の協力のもと、府内会員大学を対象に実態アンケートやヒアリングを行い、大学が抱える学生の健康課題や、府に求めるサポートを把握  ・全国大学保健管理協会近畿支部、大学への働きかけ  　上記調査結果の報告、府の取組みの紹介、今後の連携を呼びかけ  ・府内全大学対象情報交換会の実施  　上記調査結果の報告、府の取組みの紹介、好事例の紹介  （大学職員31名：会場参加9名・ウェブ参加22名、  保健所職員13名：会場参加2名・ウェブ参加11名）  ・府内全大学へ啓発資材の提供（適正ＢＭＩ：若い女性のやせ） |

(3)　中小企業の健康づくり推進事業

予　算　額　９，５５５千円

決　算　額　８，２４６千円

府内中小企業を対象に、職場における健康経営に係る取組みを支援するために、府内健康経営優良法人認定法人への取材を行い、企業における健康づくりの取組みを「健康経営OSAKAレポート」として広く情報発信し、普及啓発を行うとともに、職場の健康管理などに関する「健康経営セミナー」をオンラインで開催した。

また、府民を対象に、健康課題に応じたテーマを設けた「健活おおさかセミナー」をオンラインで開催し、府民の健康づくりへの関心向上を図った。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 健康経営OSAKAレポート | 健康経営優良法人認定法人８社を取材し、事例集（冊子）を作成した。健活10ポータルサイトでも各社の事例紹介ページを作成し公開 |
| 健康経営セミナー | オンラインセミナー３回開催　開催テーマ等詳細は下記参照 |
| 健活おおさかセミナー | オンラインセミナー６回開催　開催テーマ等詳細は下記参照 |

健康経営セミナー

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日付 | テーマ | ライブ配信(視聴者数) |
| 第１回(7/15) | ・健康経営の基礎講座　withコロナでの健康経営  ・withコロナでのメンタルヘルス対策　労働者との面談から見えてくる課題 | 171 |
| 第２回(9/9) | ・「健康経営優良法人2023」について  ・「健康宣言」を活用して認定へ  ・働く世代からのフレイル予防 | 347 |
| 第３回(3/9) | ・健康経営の本質　“なぜ今、健康経営なのか”　未来に投資する企業  ・事例発表、パネルディスカッション | 164 |

健活おおさかセミナー

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日付 | テーマ | 録画配信  (視聴回数) | 見逃し配信  (視聴回数) |
| 第１回  (7/15-7/31) | 身体と心の健康のために  快適な睡眠を考えよう | 2,110 | 1588 |
| 第２回  (8/12-8/28) | フレイル予防のための食生活 | 1,793 | 1,294 |
| 第３回  (9/9-9/25) | 健診結果が届いたら…  ～健診結果の見方・活かし方について～ | 1,696 | 984 |
| 第４回  (10/14-10/30) | 自分の体を知り、がんを予防しよう | 561 | 932 |
| 第５回  (11/11-11/27) | 健活のための歯周病ケア  ～元気で長生きするために～ | 1,445 | 748 |
| 第６回  (12/2-12/18) | 取り組みやすい運動「ストレッチング」 | 1,651 | 793 |

(4)　健康格差の解決プログラム促進事業

予　算　額　３６，３７６千円

決　算　額　３５，８１５千円

①　モデル市町村においてAIモデルを活用した特定健診の受診勧奨を実施。

（委託先：大阪大学）

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 健診受診確率予測AIモデルを活用した受診勧奨及び効果検証の実施 | 令和３年度に完成した健診受診確率予測AIモデル（複数の自治体における特定健診受診者の過去のデータから翌年の健診受診行動を予測し、効果的な受診勧奨をサポートする）を活用し、モデル市町村において特定健診の受診勧奨を実施。その結果をもとに効果検証を行った。 |
| 健診受診確率予測AIモデル運用についての説明会 | 【日程】1月19日、1月20日  【開催方法】Web  【参加人数・市町村数】12人・4市町村 |

②　健診受診確率予測AIモデル及び大阪版保健指導プログラムの府内展開に向けた説明会を実施し、

同プログラムを配布した。

（委託先：大阪大学）

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 健診受診確率予測AIモデル及び大阪版保健指導プログラムの説明会 | 【日程）】8月29日  【開催方法】ハイブリッド（会場：AP大阪茶屋町）  【参加人数・市町村数】77人・39市町村 |
| 大阪版保健指導プログラム運用のための説明会 | 【日程】1月31日  【開催方法】ハイブリッド  （会場：大阪梅田ツインタワーズ・ノース26階）  【参加人数・市町村数】20人・10市町村 |
| 大阪版保健指導プログラムの配布 | 府内43市町村へ配布  【発送日】1月23日  【送付内容】・保健指導資料集　３冊  ・CD-R（各ツール）１枚 |

　③被用者保険(被扶養者)の特定保健指導実施率向上に向けた効果的な手法を検討した。

　（委託先：京都大学）

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 被扶養者の特定保健指導実施率向上に向けた調査検討 | ヒアリングによる保険者の実態把握と被扶養者へのアンケート調査により、特定保健指導の利用障壁について要因分析し、その結果をもとに効果的な手法を検討した。 |

　　④働く世代からのフレイル予防の取組みを府内市町村・職域・地域で展開するため、研修会の実施や啓発ツールを活用したフレイルチェックの導入を支援した。あわせて働く世代からのフレイル予防について府民への周知を行った。（委託先：国立医薬基盤・健康・栄養研究所、大阪公立大学）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 取組み | 概要 | | |
| フレイルチェックの導入支援 | 対象 | 時期 | 内容 |
| 市町村  （36市町村） | ５～３月 | 健康教室、健康イベント等既存事業へフレイルチェックの導入支援 |
| 職域（２社） | ①９～３月  ②1月31日 | ①従業員へフレイルチェックの実施（708名）  ②従業員対象セミナーの開催(51名) |
| フレイルに関する調査 | アスマイル  ユーザー | 1月20日～  2月7日 | アンケート機能を活用して調査を実施  （回答28,202人） |
| 田尻町 | ６～３月 | 特定健診におけるフレイルチェックの導入と体力測定会での追加項目の検討 |
| フレイル啓発 | 府民 | ①８月12～28日  ②11月13日  ③９月  ④12月  ⑤１月23,30日  ⑥２月１日 | ①健活おおさかセミナー(視聴1793回)  ②健都イベント(セミナー42名、測定86名)  ③サンケイリビング新聞 (118万部)  ④エテルノ倶楽部（3.8万部）  ⑤ラジオ「てっちゃんねる」  ⑥市町村広報、アスマイルコラムへの掲載 |
| 企業経営者、人事・労務担当者等 | ①９月９日  ②９月13日 | ①健康経営セミナー(347名)、  ②茨木保健所管内給食研究会事業所部会研修会(24名) |
| 健康サポート薬局、都道府県薬務担当者・薬剤師会 | ①９月７日  ②３月17日 | ①健康サポート薬局対象研修会(83名)、  ②かかりつけ薬剤師・薬局指導者協議会(182名) |

(5)　ポストコロナを見据えた健康増進・健康寿命延伸気運醸成事業

予　算　額　１４，３０７千円

決　算　額　１４，３０７千円

ポストコロナにおける「新しい生活様式」に対応した健康づくりを推進するため、大阪・関西万博

に向けた取組みとして健康増進の気運醸成に向けた啓発を実施。民間企業や市町村等と連携しながら広告ジャックを行った。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 実施期間 | 主な実施場所 | 実績（協力団体） |
| 第１弾 | 10月3日～10月9日 | 大阪メトロ駅サイネージ  ホワイティ梅田サイネージ  包括連携企業サイネージ　　他 | サイネージ放映：37団体  ポスター掲示：103団体  SNS発信：42団体 |
| 第２弾 | 1月30日～2月5日 | JR大阪駅サイネージ  JR環状線全駅ポスター掲出  府内主要駅ポスター掲出　　他 | サイネージ放映：24団体  ポスター掲示：62団体  SNS発信：23団体 |

2　健康づくりに関する連携体制の整備

(1)　健活おおさか推進事業

予　算　額　１９０千円

決　算　額　１９０千円

大阪府健康増進計画に掲げる目標達成に向けた府民の健康づくりを推進するため、健康づくり推進条例に基づき設置した「健活おおさか推進府民会議」を軸として、健康づくりに関わる団体と連携・協働して健康づくりの気運醸成を図った。

(2)　地域・職域連携推進事業

予　算　額　３，５２２千円

決　算　額　　　７３３千円

生涯を通じた健康づくりを支援するため、行政、事業者、医療保険者等の関係機関による「地域職域連携推進協議会」を運営し、「第３次大阪府健康増進計画」に関する進捗報告を行った。

地域特有の課題については、保健所圏域地域・職域連携推進事業において検討し、関係機関との連携を図りつつ、対策を推進した。

※新型コロナウイルス感染拡大により、当初予定していた計画を縮小及び変更して実施した。

(3)　地域医療連携事業

予　算　額　２，６２８千円

決　算　額　　　４０９千円

地域において、複数の医療機関が疾患別に形成する診療ネットワークにより、二次医療圏における脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病について地域特性に応じた医療連携体制の充実を図った。

※新型コロナウイルス感染拡大により、当初予定していた計画を縮小及び変更して実施した。

(4)　精度管理基礎調査

予　算　額　５，４１４千円

決　算　額　５，４１４千円

府内における検診を円滑に推進するため、特定健康診査等の健康診査及び子宮がん検診における検診実施機関、検査機関の検診精度管理調査を（一社）大阪府医師会に委託して実施した。

3　循環器疾患の予防対策（（公財）大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター委託）

予　算　額　１３４，９４０千円

決　算　額　１３４，９４０千円

(1)　市町村国民健康保険、後期高齢者医療制度の医療費データ及び市町村国民健康保険における特定健診・特定保健指導データ、協会けんぽ大阪支部の特定健診データから医療費及び疾病の構造分析を行った。

(2)　市町村における保健事業を効果的に進めるため、汎用性の高い行動変容プログラムの活用、データを活用した保健事業の創出と事例収集、保健従事者等に対する研修会の開催を通じ、技術的支援を行った。

(3)　特定集団の健康状況に係るデータを追跡・調査し、蓄積されたデータに基づき、循環器疾患の予防対策に活用した。

(4)　府民の健康づくりを支援するシンクタンク機能として、循環器疾患の予防に関する情報発信等を行った。

4　健康増進事業の促進

予　算　額　　２８０，１１８千円

決　算　額　　２６９，４８８千円

　市町村が実施する健康増進事業に要する経費について、所要の補助金を交付した。

○根拠法令等

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　健康増進法第１７条、第１９条の２